

業界最大規模の運営室数「ハローストレージ」がお届けする情報誌

# ストレージライフ

3

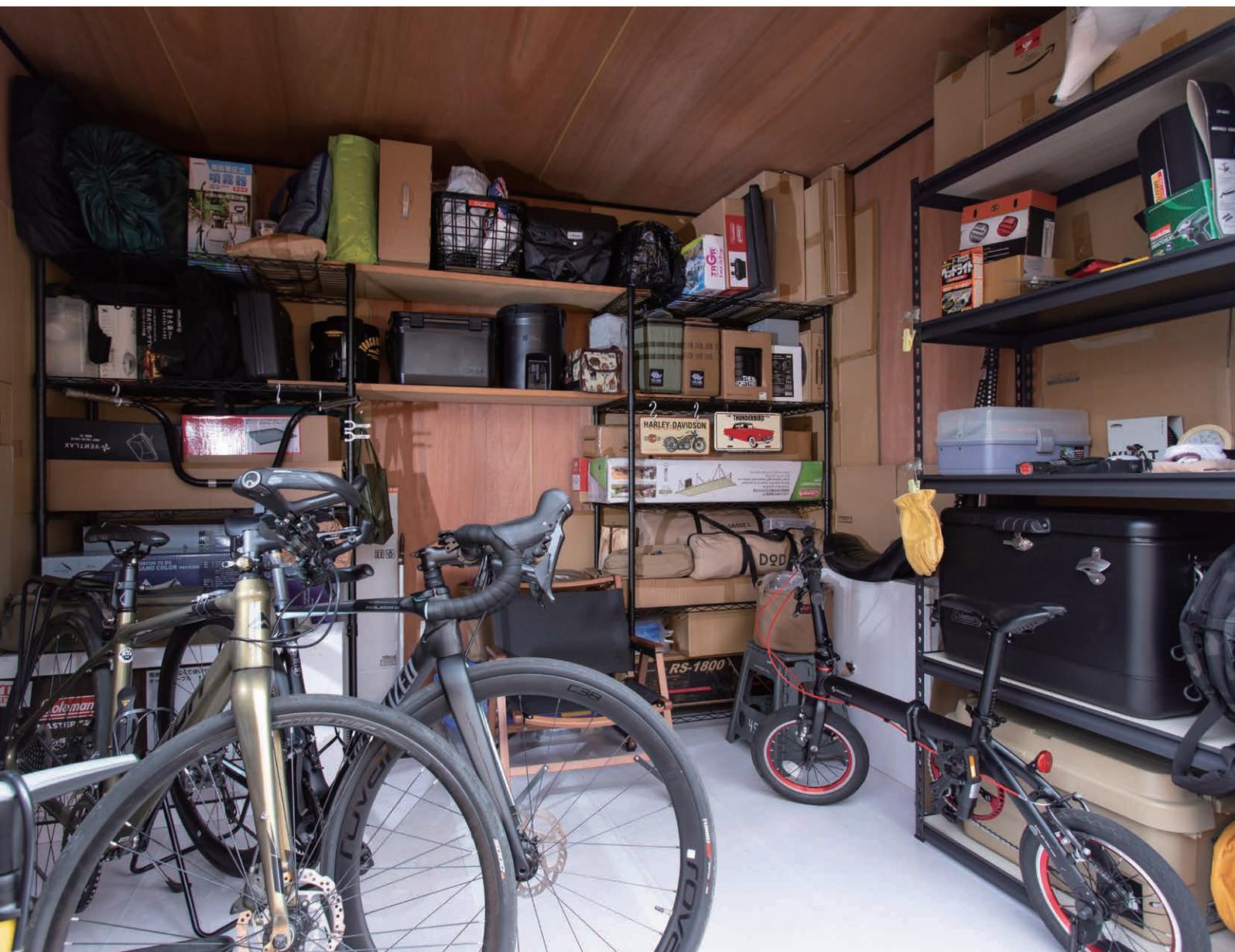
Storage Life  
Information Magazine

2025-Sep.

特集

## ハローストレージ利用者インタビュー

No.7 N.I.様/No.8 T様/No.9 みずのえみこ様



いつまでも暑さが去りやらぬ毎日ですが、徐々に過ごしやすい季節が近づいてまいりました。爽り多き秋に向け、お出かけやイベントの計画を立てている方も多くいらっしゃるかと存じます。季節の変わり目は、衣替えや趣味の道具の整理など、物と向き合う機会も増えることでしょう。そんな時こそ、トランクルームが皆様の快適な暮らしをサポートする存在となり得ます。

私たちは、『ストレージライフ』を通して、トランクルームを単なる「収納スペース」として捉えるのではなく、利用者の皆様一人ひとりのライフスタイルに寄り添い、新たな価値を生み出す存在として焦点を当ててまいりたいと考えております。本誌が、皆様の豊かな暮らしのヒントとなることを願っています。

ストレージライフ編集部一同



特集

# ハローストレージ利用者インタビュー

No.

07

## 「夢につながる第一歩」を育む、私だけの趣味の空間

ハローストレージ利用歴  
約3年2ヶ月

N.I. 様



トランクルームを利用したきっかけは、コロナ禍で始めたキャンプ用品が増えすぎたことや、自宅では収納しきれない趣味の自転車の置き場所に困ったことでした。自宅から近く、キャンペーンでお試し利用を始めた「ハローストレージ」の便利さに気づき、今も利用を続けています。

現在は主にキャンプ用品、バイクのパーツ、使用頻度の低い自転車などを収納しています。収納方法としては、箱ごと収納するほか、ラック、S字フック、マグネットフックなどを活用しています。お気に入りのキャンプ用品のロゴが見えるように並べるなど、趣味の空間として楽しんでいます。また、夏場の湿度対策にも工夫しており、除湿剤を多めに設置し、湿度計で確認するようにしています。週に1~2回ほどキャンプ準備などで荷物を出し入れに来ていますね。荷物をマンションのエレベーターで往復する必要がなく、使い始めてからさらに

トランクルームの便利さに気が付きました。

トランクルーム利用前は自宅の趣味部屋が物で溢れていましたが、利用後はトレーニング用の自転車を自宅の趣味部屋に置けるようになり、天候を気にせずトレーニングできる空間を作ることができました。トレーニング



思い出のナンバープレートをかけ、自分だけのおしゃれな空間に。



夜でも荷物を出し入れできるよう、特に夏場は湿度を気にかけ、8個ほど除湿剤を設置。



は良い気分転換になっています。また、トランクルームがあることで安心して趣味のキャンプ用品を増やせるようになり、気持ちにゆとりが持てるようになりました。

将来、ガレージハウス付きの注文住宅を建てるのが私の夢なのですが、そのシミュレーションの場として、ハローストレージを活用しています。私にとってトランクルームは、まさに「夢につながる第一歩」です。

「トランクルームで、暮らしが変わる、生き方も変わる」

トランクルームが叶える理想的な生活をいち早く実践する利用者の方々へインタビュー。

No.

08

## 母の大切な着物と思い出を守る、 安心とゆとりの空間

ハローストレージ利用歴  
約1年7ヶ月

T 様



90歳になる母が施設に入所することになり、母が大切にしている衣類や家財の収納場所が施設や私の自宅では足りず、トランクルームを使い始めました。

「ハローストレージ」を選んだのは、自宅と施設の中間地点という好立地だったことと、大きな桐ダンスを収納できる4.2帖の広さにちょうど空きがあったためです。事前に内覧した際、建物が清潔で換気もされており、湿気がこもりにくい環境だったことが決め手となりました。また、車椅子を利用する母がいつでも荷物を見に来られるよう、バリアフリーで段差が少ないフルフラット設計だったことも大きな利点でした。

収納物は母の桐ダンスに入れた着物約30着のほか、息子のギターやアンプなど多岐にわたります。洋服の収納ボックスには「夏」「冬」など季節のラベルを貼り、探しやすくする工夫もしています。母の大切な洋服や着物が清潔な場所に収納されていて、安心して過ごせることが

何よりのメリットです。加えて、自宅にも空間的なゆとりが生まれ、息子がバーベルを置いて筋トレをするスペースも確保できました。



母との思い出の着物を大切に収納。



大きな桐ダンスも、4.2帖サイズならそのまま収納が可能。



収納ボックスには季節のラベルを貼り、分かりやすく管理。

土地柄もあり、利用料金は正直高いと感じますが、空調設備が24時間稼働している環境に大切な物を置いておけることを考えると、十分な価値があると実感しています。私にとってトランクルームは、単なる収納スペースではなく、母の大切な思い出と品々を適切な環境で守り、家族に安心とゆとりをもたらしてくれる、かけがえないパートナーのような存在です。





特集

# ハローストレージ利用者インタビュー

No.

09

## 移り変わる暮らしを支える、私の「心の避難所」

ハローストレージ利用歴  
約13年5ヶ月

みずのえみこ 様



消臭ビーズ、防虫剤、除湿剤は各収納ボックスに入れて定期的に入れ替え。

引越し先のシェアハウスに押し入れがなく、捨てられない物やまだ使える物を収納する場所が必要になったことが、トランクルームを使い始めたきっかけです。

その後も、トランクルームの場所を基点に次の引越し先を探すほど、私の生活に欠かせない存在となっています。

「ハローストレージ」を選んだのは、スタッフの対応の良さ、空調設備や防犯設備が整っていること、そして立地の良さが決め手でした。初めて内覧した時の感動は今でも忘れられません。

主な収納物は、季節の衣類、趣味のCD、マンガ、楽器、カメラの三脚、結婚式用の服など幅広く、処分に悩むものや、自宅には置ききれない大切な物を収納しています。収納の工夫として、中身が一目で分かるスケルトンの収納ボックスを使用し、消臭ビーズや防虫剤、除湿

剤を定期的に入れ替えています。また、来るたびに室内の写真を取り、収納した荷物がどこにあるか記録するようにしています。

トランクルームを利用してから、家が広がったことで規則正しい生活を心がけるようになり、当初は想定していなかったストレスフリーな暮らしを手に入れられました。自宅にある物が減った分、使いたい物が見つからないイライラも無くなり、精神的なゆとりが生まれたのが一番の変化です。

収納のある広い部屋に引っ越しよりも、トランクルームを借りる方が費用を抑えられ、金銭的にも合理的な選択肢だと思っています。

私にとってトランクルームは、単なる収納スペースではなく、「心の避難所」です。現在もシェアハウスに住んでいますが、他の住人が危うく火事を起こしそうになったことがありました。そんな時でも、トランクルームにある程度の衣類や趣味の物を置いていることで、万が一一家の荷物が被害を受けた場合でも生活はできると思え、大きな安心感を得られています。今では生活の一部として欠かせない存在です。長年利用していますが、交通系ICカードでの入退館や自動開錠機能も導入され、さらに利便性が向上していると感じています。



段ボールからスケルトンの収納ボックスに変更し、中身が外から分かるように。



いつか使いたい、スカッシュのラケットも収納。



### ハローストレージに関するお問い合わせ

エリアリンク株式会社が運用する「ハローストレージ」は全国に11万室以上を展開しており業界最大規模。便利で安心なトランクルームです。

**0120-52-4185** 営業時間9:30~18:00(年末年始除く)